

概観

【政治・社会】

- ・ 22日、ラデフ新大統領及びヨトヴァ新副大統領の就任式が行われた。
- ・ 24日、3月26日に国民議会早期総選挙を実施する旨の大統領令が発出された。
- ・ 27日、ゲルジコフ暫定首相を首班とする暫定政府が発足した。同日、第43回国民議会が解散した。

【経 済】

- ・ 13日の雇用庁の発表によると、2016年12月の失業率は8.0%となり、8年ぶりの低水準となった。
- ・ 19日、ブルガリア・セルビア間の天然ガス相互接続管の建設計画に関する覚書の署名が行われた。

この月報はブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治・社会

1. 内政

(1) 大統領府、政府、国民議会に関する動き

◆プレヴネリエフ大統領の離任会見

▶18日、プレヴネリエフ大統領はポポヴァ副大統領とともに5年の任期終了に際しての離任記者会見を行った。同大統領の発言概要は以下の通り。

▶司法は今日のブルガリアにおける主要課題であり、ブルガリアに更なる(公正な)司法を確保するために緊急の行動が必要である。

▶自分は国際関係について、ブルガリアが積極的かつ価値あるEU・NATO加盟国であることを支持する一貫した堅固な政策を実施してきた。自分は国際法を支持し、ロシアによる非合法的クリミア併合に反対し、ロシアにより開始された凍結された紛争に反対するとの原則的立場をとってきた。自分は勢力範囲の再配分というロシア大統領の政策に対しては批判を惜しまない。

▶ブルガリアの安全はNATOにおいてのみ保障されると信じている。ブルガリア軍とNATO間の相互運用性は戦略的優先事項であるべきである。

自分は国防費を対GDP比2%まで引き上げることがを主張してきた。国防費は2014年の対GDP比1.12%から2017年には同1.6%に増加しており、同2%に達するまで引き続き徐々に増加していこう。

▶自分が国家のために設定した戦略的優先事項としては、技術革新、電子政府・電子投票、近代化・連結性、教育のデュアル・システム、エネルギー効率性、エネルギー市場自由化・エネルギー多角化が挙げられる。

◆ラデフ次期大統領の宣誓式

▶19日、ルメン・ラデフ次期大統領及びイリアナ・ヨトヴァ次期副大統領は国民議会において就任の宣誓式を行った。ラデフ次期大統領の演説の概要は以下の通り。

▶1300年に及ぶ歴史を持つ国家の大統領となることをうれしく思う。前任者であるジェレフ元大統領、ストヤノフ元大統領、パルヴァノフ前大統領、プレヴネリエフ大統領の国家建設に対する貢献に謝意を表明する。

▶EU・NATO加盟は疑問の余地のない戦略的選択である。ブルガリアの外交政策は国家の内部で形成され外国に主張するべきであり、その逆となるべきではない。統合欧州は絶対に保持されなければならない、その逆行は歴史的時間の許しがたい無駄である。ブルガリアの2018年前半のEU議長国就任は、全てのレベルで責任と協調した努力を必要とする挑戦であり、重要な機会である。EU・NATOとロシアの間には明らかに危機があるが、対立の拡大は解決策とはならない。この文脈において、大統領はEUの既存のメカニズムを通じて危機の解決を支援すべきである。

▶軍最高司令官としての権限において、軍がNATO集団安全保障への参加に適するだけでなく、ブルガリアの主権、独立及び領土一体性を守る能力を構築できるように働く。長期間に及ぶ先送りの後、ブルガリアは軍の再軍備に向けた投資計画を採択し、資金を配分した。自分は軍人の社会的地位の向上のため、危険な割合に達すると想定される軍からの人材流出を終わらせるために引き続き働く。

▶難民危機については、共同の行動及び解決を求める。ブルガリアは国境管理を改善し不法移民の数を抑制するための手段をとるべきであり、ダブリン規則の改正を求める。

▶次期国民議会は迅速、公正で独立した司法を達成するため司法改革を優先事項とすべきである。選挙制度改革は更なる問題を増やさず国民議会議員の有権者への説明責任を高めるような方法で実施すべきである。

▶経済に関しては、競争保護のメカニズムがうまく機能しておらず、消費者保護が不十分である。ブルガリア経済は持続可能であると見られ、税率は低く経済も成長している。しかし、一般の人々が見ているものは別のものである。多くのブルガリア人が家族を養うために国外で働き、村民は借金して物を購入し、外国投資は汚職により妨げられている。

▶ブルガリア国民はしかるべき対価を受ける必要がある。移行期間はブルガリア人にとって試練だ

ったが、我々は弱者や貧困者を見捨ててはならない。同期間における未解決の問題が壊滅的な人口危機へと変わった。若者がブルガリアに留まり国内で家族を養うための条件を作り上げることが重要である。

◆ラデフ新大統領の就任

▶22日、ラデフ新大統領及びヨトヴァ新副大統領の就任式がソフィアのアレクサンダー・ネフスキー広場で行われた。ラデフ新大統領は民主的に選出された5人目の大統領に就任した。プレヴネリエフ前大統領とラデフ新大統領は儀仗兵及び陸・海・空軍の代表団に敬礼した。また、両者は無名兵士の記念碑に献花し、黙祷を捧げた。

▶プレヴネリエフ前大統領は就任式での演説において、大統領の任期は困難であったが成功に終わった、自分は国家を正しい方向に導き正しい優先事項を設定した、人間誰もがするような間違いはしたが、大統領としての間違いはしなかった、自分は法の支配のために闘い、世界を勢力範囲で分割するという考えには反対した、と述べた。

▶ラデフ新大統領は就任式での演説において、(新旧大統領の)継続性を強調しつつ、自分は党派、民族及び宗教にかかわらず、全ブルガリア国民の大統領となり、対話と和解、協調と均衡の大統領となる、と述べた。

▶24日、ラデフ大統領は3月26日に国民議会早期総選挙を実施する旨の大統領令に署名した。なお、昨年11月の選挙制度に関する国民投票で多数の支持を得た多数代表制の導入については、第43回国民議会で同制度導入の法改正に至らなかったため、3月の総選挙は従来の比例代表制で実施される。

◆暫定政府の発足

▶25日、ラデフ大統領は、27日に発足させる暫定政府の閣僚を任命する大統領令に署名した。任命された閣僚は以下のとおり。

① 暫定首相：オグニャン・ゲルジコフ（元国民議会議長）

- ② 社会政策担当暫定副首相兼暫定保健相：トドル・セメルジエフ（元暫定保健相）
- ③ 公安・安全保障担当暫定副首相兼暫定国防相：ステファン・ヤネフ（退役将校）
- ④ 欧州基金担当暫定副首相：マリナ・クルモヴァ（閣僚評議会中央調整局長）
- ⑤ 2018年ブルガリアEU議長国準備担当暫定副首相：デニツァ・ズラテヴァ（ブルガリア社会党国際局長）
- ⑥ 暫定内相：プラメン・ウズノフ（元内務省地方局長）
- ⑦ 暫定財務相：キリル・アナニエフ（財務副大臣）
- ⑧ 暫定労働・社会政策相：ガラブ・ドネフ（国家保険公社運営委員長）
- ⑨ 暫定地域開発・公共事業相：スパス・ポプニコロフ（民間出身）
- ⑩ 暫定教育・科学相：ニコライ・デンコフ（元教育科学副大臣）
- ⑪ 暫定外相：ラディ・ナイデノフ（駐独大使）
- ⑫ 暫定法相：マリヤ・パヴロヴァ（高等司法評議会評価委員会委員）
- ⑬ 暫定文化相：ラシュコ・ムラデノフ（俳優）
- ⑭ 暫定環境・水相：イリナ・コストヴァ（建築・測地大学水力工学部長）
- ⑮ 暫定農業・食糧相：フリスト・ボズコフ（元タバコ・タバコ製品研究所長）
- ⑯ 暫定運輸・IT・通信相：フリスト・アレクシエフ（元国営鉄道インフラ会社副総裁）
- ⑰ 暫定経済相：テオドル・セドラルスキ（元ソフィア大学経済学部長）
- ⑱ 暫定エネルギー相：ニコライ・パヴロフ（ブルガルガス社長）
- ⑲ 暫定観光相：ステラ・バルトヴァ（元国家観光委員会副委員長）
- ⑳ 暫定青年・スポーツ相：ダニエラ・ダシェヴァ（国立スポーツアカデミー副学長）

▶27日、ラデフ大統領は大統領府で暫定政府の発足式を行い、暫定政府の顔ぶれと優先事項を発表した。同大統領は、暫定政府は明確な優先事項

を有している、すなわち、国家の正常な機能を確保すること、公正な選挙を実施すること及びブルガリアのEU議長国期間の準備を進めることである、と述べた。同大統領は、暫定政府の第一の任務は自由で公正な選挙の準備及び実施であるとし、暫定政府は選挙の不正を防止するためのあらゆる手段を取るべきである、と述べた。

▶ゲルジコフ暫定首相は、暫定政府の主要任務の一つは早期総選挙の実施である、過去数十年、選挙プロセスは露骨な不正に満ちていた、我々はこれらの悪習を終わらせるか、少なくとも制限するために全力を尽くす、と述べた。

◆第43回国議会の解散

▶27日、第43回国議会は解散した。国民議会広報局及び法務局によると、2014年10月27日から2017年1月26日までの間、同国民議会は336の法律、392の決定、3の声明・宣言を採択した。また、本会議は296回（うち特別会議は22回）開会された。提出された法案数は708だった。

（2）政党の動き

◆「検閲のないブルガリア」が解散し新党へ

▶7日、ニコライ・バレコフ氏（欧州議員）が党首を務める「検閲のないブルガリア」は第3回全国党大会において、新党「ブルガリア・リローデッド (Bulgaria Reloaded)」を結成した。新党結成により「検閲のないブルガリア」は解散することになる。新党名は20万名超が投票したインターネット投票で60%超の支持を得て選ばれた。バレコフ氏は全会一致で新党の党首に選出された。

◆ABRの新党首選出

▶15日、左派政党「ブルガリアの復興のための選択 (ABR)」は党大会を開催し、新党首を選出した他、早期総選挙に向けた準備について議論した。同大会で公式に辞任する党幹部のバルヴァノフ党首（元大統領）、カルフィン副党首及びペトコフ副党首は、党の通常業務からは離れるが、政界

を離れることはない、と述べた。

▶コンスタンティン・プロダノフ氏が公開投票で新党首に選出された。プロダノフ新党首は39歳の投資マネージャーであり、パルヴァノフ前党首が大統領であった時に経済・金融担当大統領顧問を務めていた。同新党首は、日本での留学・勤務経験を有する。同新党首は党大会で演説し、ABRがGERBの連立パートナーとなったことは重大な間違いであった、ABRは第一に、GERBから明確かつ断固とした距離を置かなければならない、と述べた。同新党首によれば、GERBは汚職の巣窟であり、外国利権の奴隷であり、凡庸である。同新党首は、ABRは左派及び中道勢力との共働を模索しなければならない、と述べた。23日の報道によると、ABRは同様にブルガリア社会党(BSP)からの離脱勢力である「運動21」と次回総選挙において連合を形成するべく交渉を行っている。

◆カネフDSB党首による新連合の立ち上げ

▶25日、「強いブルガリアのための民主主義者(DSB)」、市民評議会、市民社会団体の代表は、新たな連合「ニュー・リパブリック」を始動する予定であると発表した。DSBのカネフ党首は、改革派ブロックとの連立の可能性を否定し、我々はGERBに代わる選択肢である、と述べた。

▶トライチョ・トライコフ氏は、本連合は教育程度の高い国民、強い国家機関、法の支配、汚職対策、党派性のない小規模の行政という理念に基づいている、と説明した。また、マルティン・ディミトロフ氏は、ブルガリアはかつてなく中道右派の新たな選択肢を必要としている、と述べた。本連合は、教師及び大学講師の給与の20%の即時引き上げ、家族政策、人口危機の克服、恵まれない人のための社会政策、環境保護等を優先課題に掲げている。

▶31日、「ニュー・リパブリック」が発足し、カネフDSB党首が代表となった。「ニュー・リパブリック」はDSB、DSB国家女性クラブ、プロヴディフのための同盟、ブルガリア民主主義共同

体、市民ブロック同盟、マケドニアのラドコ・ブルガリア人協会から構成される。カネフ代表は、ニュー・リパブリックはGERBに取って代わる新たな選択肢であり、主な政敵はBSPと「権利と自由のための運動(MRF)」である、と述べた。同代表は、次期国民議会は4~5以上の政党により構成されるだろう、GERBとBSPは(前回と)同等の議席を得られないだろう、と述べた。

◆改革派ブロックの党大会開催

▶28日、改革派ブロックは初めての党大会を開催した。同ブロックの構成政党は、我々は改革派ブロックに留まる、なぜなら同ブロックは右派のための証明済みの連合だからである、と宣言した。党大会で採択された政治決議によると、同ブロックは強い国家に向けて働き、安全保障、教育、保健、インフラ、法の支配、文化に焦点を当てる。3月の早期総選挙で同ブロックの選挙運動を率いるペタル・モスコフ氏(前保健相)は、同ブロックを離脱したDSBに対し、同ブロックへの復帰を呼びかけた。

(3) その他

◆ゲオルギエヴァ欧州委員会副委員長の世銀転出

▶1日、クリスタリナ・ゲオルギエヴァ欧州委員会副委員長(予算・人事担当)が同職を辞任し、世界銀行のCEOに転出した。同氏は昨年10月末、年末で同職を辞任し2017年から世銀に転出する旨を表明していた。これにより、1日以降、欧州委員会にはブルガリア代表の欧州委員が不在となった。ゲオルギエヴァ氏の後任の欧州委員の選出作業は、11月にボリスフ政権が総辞職を表明して以降、進展していない。ユンカー欧州委員会委員長は、ブルガリアによる後任の欧州委員の指名については特段急いでいない、と述べた。

▶6日、欧州委員会のシナス主席報道官は本件に関し、ブルガリア代表の欧州委員が不在となっていることに特段の問題はない、リスボン条約は欧州委員が28名未満となっても合法的に機能する

ことを保障している、と述べた。なお、ゲオルギエヴァ氏の職務（予算・人事担当）はエッティンガー欧州委員（デジタル経済・社会担当）が引き継ぐ。

◆ネンチェフ国防相が新たな容疑で訴追

▶5日、ソフィア検察当局はネンチェフ国防相を職務上の不正行為の疑いで訴追したと発表した。ネンチェフ国防相は昨年11月にポーランドとのミグ29戦闘機補修契約に関連する容疑で既に訴追されている。今回の容疑によると、ネンチェフ国防相は2014年11月7日から2016年3月29日までの間に職務上の義務を怠り、ミグ29戦闘機の構成部品の補修及び代替部品の供給に関する計画を承認せず、ブルガリア空軍の航空安全及び耐空性の確保を怠った。

◆トテフ・プロヴディフ市長が訴追

▶10日、ソフィア検察当局は、国内第二の都市プロヴディフのトテフ市長を職務上の不正行為の容疑で訴追したと発表した。検察当局によれば、同市長の不正行為により市の財政に100万レヴァの損失が生じた。今回の容疑によると、同市長は2014年4月から11月までの間、市の公園の一つに動物園を建設するプロジェクトに関連して職務上の義務を怠り、公共調達法に違反してプロジェクトの承認及び建設許可の前に建設業者と直接契約を締結した。

▶16日、プロヴディフ地方裁判所はトテフ市長の職務停止を決定したが、24日、プロヴディフ控訴裁判所は同決定を取り消した。

◆クルムバシエフ氏が欧州議会議員に繰り上げ当選

▶16日、中央選挙管理委員会は、イリアナ・ヨトヴァ欧州議会議員（BSP、社会民主進歩同盟（S&D））が副大統領に選出されたことを受け、欧州議会議員選挙で次点だったペタル・クルムバシエフ氏が欧州議会議員に繰り上げ当選することを正式に発表した。クルムバシエフ氏は第41回、

第42回国民議会で国民議会議員を務めた経験を有する。同氏は2019年の現欧州議会の任期まで欧州議会議員を務める。

◆CVM報告書の発表

▶25日、欧州委員会はブルガリアの協力・検証メカニズム（CVM）に関する最新の報告書を発表した。欧州委員会は、過去10年及び前回報告書（2016年1月）以降の司法改革及び汚職・組織犯罪対策の進展を認めた上で、現時点では設定されたベンチマークが十分に満たされたと結論付けることはできないが、2019年の現欧州委員会の任期終了までに目的が達成され、CVMの終了が可能であるとの楽観的見通しを示した。

▶ティーマンス欧州委員会筆頭副委員長はブリュッセルでのブルガリアの記者団への会見において、CVMのベンチマークは2019年までに満たすことが可能であると確信する、CVMの目的が達成されるだろうとの確信及び楽観は過去10年の経験に基づいている、ブルガリア政府の過去数年間の実績はすばらしいものだった、同じスピードで進展を続ければ、我々がなすべき事柄を達成することができる、と述べた。

▶本報告書は、過去10年の全体的な進展は期待していたほど早くはなく、依然として多くの重要な困難に対処しなければならない、新政府は不可逆的な成果を確保するために改革を前に進めなければならない、と結論付けている。司法改革については、高等司法評議会（SJC）が司法分野を統制する重要な機関であり、司法改革に関する具体的成果の多くはSJCをうまく機能させることにかかっている、と指摘した。また、汚職対策については、同対策の停滞を指摘し、汚職対策国家戦略の改定は重要なステップであるが、同戦略を実施し、必要な法制を整備し、必要な機関を設立するという課題が残っている、前回報告書からの進展は限定的である、と指摘した。また、組織犯罪対策については、組織犯罪が過去10年間で分裂化・多面化し、合法的ビジネスにまで広がりを見せ、公然の暴力は少なくなっているとの傾向を

指摘し、犯罪資産の没収に関する法律の改正や不法資産没収委員会の独立・効率的な運営の確保を勧告した。

◆ギリシャ農民による国境封鎖問題

▶31日、ウズノフ暫定内相はギリシャのトスカス内相と電話会談を行い、両国国境地点でのギリシャの農民による抗議行動について議論した。ウズノフ内相によると、トスカス内相は、農民による国境封鎖を阻止するためギリシャ警察は必要なあらゆる手段をとる、と述べた。アレクシエフ運輸相もギリシャのスピルツィス運輸相に書簡を送付し、国境封鎖及び物資の自由移動の妨害を解決するための方策をとるよう求めた。

▶両国国境地点ではギリシャ政府の政策に抗議する同国の農民が国境を封鎖し、国境通過ができなくなる事態が発生した。同日午後1時頃、国境警察はクラタ・プロマコナスの国境地点が農民の封鎖により通行できなくなった、と発表した。ブルガリア側では車両とトラックから成る3kmの列が国境通過待ちとなった。国境封鎖は約1時間続いた。ブルガリアの欧州議会議員は18日、欧州委員会が本問題の解決に関与し、ギリシャ政府が適切な対応をしない場合は同国に制裁を行うよう求める書簡をEU首脳陣や関係欧州委員に送付している。

2. 外政

◆ミトフ外相：EU外務理事会出席

▶16日、ミトフ外相はブリュッセルで行われたEU外務理事会に出席した。同理事会ではシリア情勢の進展等について議論が行われた。また、同外相はブルガリア・ギリシャ・ルーマニア・クロアチアの4ヶ国のフォーマットによる会合を主催した。更に、同外相はモグリーニEU外務・安全保障政策上級代表と会談し、EUの直面する外交政策の課題、難民危機、西バルカン・トルコ情勢について議論した。

◆ラデフ大統領のブリュッセル訪問：EU首

脳陣との会談

▶30日、ラデフ大統領は就任後初の外遊先としてブリュッセルを訪問し、トゥスク欧州理事会議長、ユンカー欧州委員会委員長、タヤーニ欧州議会議長と会談した。これらの会談では、国境警備、難民問題、EUにおける経済成長の機会が主な議題とされた。ラデフ大統領には、ナイデノフ暫定外相、ヤネフ公安・安全保障担当暫定副首相兼暫定国防相、ズラテヴァ2018年ブルガリアEU議長国準備担当暫定副首相が同行した。

▶ラデフ大統領は記者団に対し、トゥスク欧州理事会議長との会談では国境警備を含むブルガリアの重要問題を挙げ、理解を求めた、と述べた。同大統領は、ブルガリアが抱える非常に重要な問題の筆頭が安全保障及び難民問題である、と述べた。また、同大統領は、EU周辺国を移民がEUに入国するためのバッファー・ゾーンとしてしまう恐れのあるダブリン規則について改正を求めた。

▶ラデフ大統領はユンカー欧州委員会委員長との会談において、EUがブルガリアに行ってきた全てのことに対する謝意を表明した。両者の会談では、国境警備についても議論された。ラデフ大統領はブルガリアの欧州委員の指名について議題に挙げたかと記者団に問われ、選挙期間中に暫定政府が欧州委員を指名することは好ましくない、（選挙後に発足した）次の政府が指名を行うべきである、との考えを示した。これに対し、ユンカー委員長は、ブルガリアが国民議会選挙後に欧州委員を指名したいという考えについて完全に理解する、指名は5月になることに合意する、と述べた。

▶ラデフ大統領はタヤーニ欧州議会議長との会談において、同議長がブルガリアの問題を理解しており、それらの解決を模索する準備があることに対する謝意を表明した。同議長は、ブルガリアはその地理的位置から地域の安定及び繁栄にとって重要である、難民問題は国家の問題というより欧州の問題である、と述べた。また、同議長は、ブリュッセルを最初の外遊先としたラデフ大統領の決定はブルガリアから欧州への力強いメッセージ

である、と述べた。

◆ラデフ大統領のブリュッセル訪問：ストルテンベルグNATO事務総長との会談

▶31日、ブリュッセル訪問中のラデフ大統領はストルテンベルグNATO事務総長と会談した。同大統領は会談後の共同記者会見で、ブルガリアにとってNATOは同盟国の安全と治安を守り同盟の国境を越えて安定を保障するための非常に重要な組織である、と述べた。同大統領は、ブルガリア大統領としてブリュッセルを初の外遊先とした決定は、ブルガリアが我々の集団安全保障及び国防に対する価値観と責任を共有する組織としてNATOを重要視していることの表れである、と述べた。

▶同大統領はストルテンベルグ事務総長に対し、ブルガリアはNATOウェールズ首脳会合の決定を遵守し、国防費が対GDP比2%に達するよう最大限の努力をする、ブルガリアは国民議会で承認された軍近代化のための投資計画を実施することにより、軍の近代化のためにあらゆることをする、と述べた。また、同大統領は、NATOによる抑止力の増大や防衛態勢は、ロシアとの対立や誤解を避け、危険を減らすために、同国との政治的対話を深化させつつ進めるべきである、と述べ

た。

▶ストルテンベルグ事務総長は、過去にNATO本部での勤務経験のあるラデフ大統領の再訪を歓迎した。また、同事務総長は、NATO加盟後約13年、ブルガリアは集団安全保障に非常に重要な貢献をしてくれた価値ある同盟国であったとして、アフガニスタンのブルガリア軍を賞賛した。

▶ストルテンベルグ事務総長は、我々はより独断的になったロシアを目撃している、我々は南部に対する混乱及び暴力、テロ、サイバー攻撃、ハイブリッド戦争を目撃している、NATOは同盟の南東部、バルト諸国、ポーランドでのプレゼンス増大によってこれらに対応している他、陸・海・空の各方面で黒海地域でのプレゼンスを強化している、と述べた。

▶同日、ラデフ大統領は欧州連合軍最高司令部を訪問し、スカパロッチ最高司令官と会談した。

経 済

1. マクロ経済

◆2016年1～11月の輸出総額は前年同期比1.5%増

▶12日発表の国家統計局の統計によると、2016年1～11月の期間におけるブルガリアの輸出総額は421億2,890万レヴァで前年同期比1.5%増となった。また、同期間における輸入総額は463億9,860万ユーロで前年同期比1.8%減となった。同期間における貿易収支は42億6,970万ユーロの赤字となった。

▶2016年1～10月の期間における対EU輸出額は259億2,560万ユーロで前年同期比6.2%増となった。主な輸出相手国はドイツ、

イタリア、ルーマニア、ギリシャ、フランスだった。また、同期間における対EU輸入額は277億7,960万ユーロで前年同期比2%増となった。主な輸入相手国はドイツ、イタリア、ルーマニア、ギリシャ、ポーランドだった。同期間における対EU貿易収支は18億5,400万レヴァの赤字だった。

▶2016年1～11月の期間における対非EU輸出額は134億2,260万ユーロで前年同期比8.1%減となった。主な輸出相手国はトルコ、中国、セルビア、マケドニア、ロシア、米国だった。同期間における対非EU輸入額は155億1,800万ユーロで前年同期比8.4%減となった。主な輸入相手国はロシア、トルコ、中国、ウクラ

イナだった。また、同期間における対非EU貿易収支は20億9,540万ユーロの赤字だった。

◆失業率が8%に低下

▶13日の雇用庁の発表によると、2016年12月の失業率は8.0%となり、8年ぶりの低水準となった。2009年12月の失業率は9.13%だった。2016年年末時点の登録失業者数は2009年以降初めて30万人を下回り、26万1,015人となり、前年同時期比で6万7,906人減少した。ただし、前月(11月)比では失業者数は3,035人増加している。これは年末のビジネス活動の現象によるものであるが、登録失業者数の季節的増加は、ソフィア、ブラゴエフグラッド、ペルニツク及びヴィディンを除くほぼ全地域で観察されている。

◆2016年第3四半期末時点の政府債務はEU内最低水準

▶23日発表のユーロスタットのデータによると、2016年第3四半期末時点のEU28ヶ国の政府債務は対GDP比83.3%となり、前期の同84.2%、前年同期の同85.9%と比べて減少した。また、ユーロ圏では同90.1%となり、前期の同91.2%、前年同期の同91.5%と比べて減少した。

▶2016年第3四半期末時点で最も政府債務が多かったのはギリシャ(同176.9%)、ポルトガル(同133.4%)、イタリア(同132.7%)だった。一方、最も政府債務が少なかったのはエストニア(同9.6%)、ルクセンブルク(同21.5%)、ブルガリア(同28.7%)だった。

◆2016年の連結財政計画は約15億レヴァの黒字

▶25日、閣僚評議会が承認した連結財政計画(CFP)に関する報告書によると、2016年のCFPは14億7,250万レヴァの黒字となった。これは対GDP比1.6%に当たる。CFPが黒字となったのは2008年以降で初めてである。

内訳は、国家予算の赤字が7億4,310万レヴァ、EU基金の黒字が22億1,570万レヴァである。なお、2015年のCFPは24億8,520万レヴァの赤字(対GDP比2.8%)だった。2016年末時点の財政準備金は129億レヴァとなった。

2. 経済政策, 産業

(1) エネルギー関連

◆厳冬による電力消費量増加に伴う電力輸出制限

▶10日、ペトコヴァ・エネルギー相は、最近の零下が続く厳しい冬の気候を受け、必要があれば電力輸出を停止する、と述べた。過去数日間の電力消費量は1996年以来で最高となっており、国内の全発電所の稼働率はほぼ100%となっている。同エネルギー相は、ブルガリアの電力供給が配給制となることはない、と述べた。

▶12日、エネルギー省は国内の電力消費量を賅うため電力輸出を制限すると発表した。輸出制限は13日1時から開始され、国内電力システムの安全な稼働確保に必要な備蓄電力が補給されるまで継続される。

◆セルビアとのガス相互接続管の建設計画に関する覚書への署名

▶19日、ペトコヴァ・エネルギー相とセルビアのアンティッチ・エネルギー鉱業相はソフィアにおいて、ブルガリア・セルビア間の天然ガス相互接続管の建設計画に関する覚書に署名を行った。両国は、遅くとも2019年5月までに相互接続管の建設を開始し、2020年末までに稼働できるようにするために最大限の努力を行うことで合意した。ペトコヴァ・エネルギー相は、同接続管のブルガリア区間に対してはEU基金の「競争」実施プログラム(OP)から4,500万ユーロが提供されている、と述べた。両相は、ブルガリア・セルビア間の相互接続管とブルガリア・ギリシャ間の相互接続管が2020年に稼働を開始できるよう両計画を平行して進展させる、と述べた。

また、ペトコヴァ・エネルギー相は、ブルガリアとトルコとの相互接続管の建設計画についても動きがある、と述べた。

(2) 非EU諸国との関係

◆中国ビジネス代表団のブルガリア訪問

▶11日、ボリスフ首相は、ブルガリアでの投資を検討している中国のビジネス関係者と面会した。面会したのは、アリババグループ、GSソーラー社、ゴールドポリグループの代表であり、ドンチエフ経済政策担当副首相とアバジエフ在シエラレオンブルガリア総領事が同席した。

▶中国のビジネス関係者からは、ボリスフ首相と習近平国家主席、李克強総理が築いた良好な二国間関係によりブルガリアへの投資に対する関心は拡大している旨の発言があり、二国間ビジネス関係は中東欧諸国・中国「16+1」会合へのブルガリア首脳レベルの参加やその他経済フォーラム、個別案件の議論により強化されているとの理解で一致した。

▶通信販売事業を行うアリババグループは、ブルガリアに欧州ロジスティックセンターを設立し、ブルガリアの農産品等も含めて販売することを検討しており、GSソーラー社は太陽光パネルの製造工場設立を検討している。ゴールドポリグループは、ブルガリアの葉タバコの仕入れに関心を有している。

(3) その他

◆送電会社の民営化に際しての国有株式の売却案件に関する元経済・エネルギー相と元財務相の訴追

▶3日、アルナウドヴァ検事総長報道官は記者会見で、トライチョ・トライコフ元経済・エネルギー相（2009～2012年、第1次ボリスフ内閣）を2011年の送電会社の民営化に際しての国有株式の売却案件に関連する容疑で訴追した、と発表した。また、シメオン・デヤンコフ元財務相（2009～2013年、第1次ボリスフ内閣）についても同案件に関連する容疑で居場所を捜索

中である、とした。

▶トライコフ元経済・エネルギー相に対する容疑によると、同元経済・エネルギー相は2011年5月から6月の間、送電会社EVNの株主及び国営整理会社（SCCEAD）の所有者としての国家の権限の行使に際し、国家財産の運営・管理・保全を怠り、結果としてSCCEADに2,082万9,200レヴァの損害を被らせた。同元経済・エネルギー相は、SCCEADが所有するEVNの残余株式5万1,612株（全株式の33%に相当）の売却を許可し、売却は民営化・民営化後管理庁（PPCA）が実施した。同株式は2011年12月21日に証券取引所で9,000万レヴァ超の価格で売却された。同株式に提示された市場価格はPPCAの設定した最低価格よりも約20%高かった。本件売却は、（民営化に際しての）残余株式の売却は会社の実績改善と株価の増大を伴う、利益を生じるものでなければならないとする、2003年6月11日の閣僚評議会で承認された送電会社民営化戦略に違反する。

▶10日、検察当局は、ビジネスマンで新聞社経営者のイヴォ・プロコピエフ氏を同案件に関連する容疑で訴追した、と発表した。プロコピエフ氏に対する容疑によると、国有株式の売却に際しては、同氏の所有する仲介会社「ブルブローカーズ」が買い手側と売り手側の双方の代理を務めており、利益相反状態となっていた。

▶13日、検察当局は、デヤンコフ元財務相を同案件に関連する容疑で訴追した、と発表した。デヤンコフ元財務相に対する容疑は、2011年5月から6月の間、プロコピエフ氏に唆され、「ブルブローカーズ」が127万6,618,85レヴァの利益を得られるようにするために自身の権限を逸脱したというものである。同元財務相は、PPCA長官に対し、独立の評価会社ではなく「ブルブローカーズ」に株式評価を依頼するよう違法に命じたことにより、「ブルブローカーズ」が株価を低く評価することを幫助し、結果として国家に損害を与えた。

◆ソフィア空港コンセッション入札期限が5月に再延期

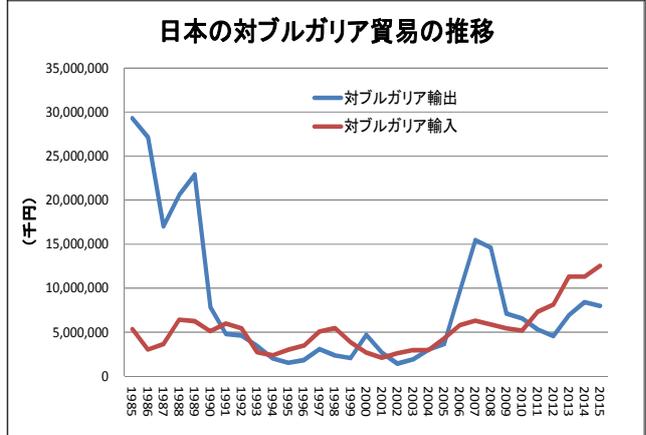
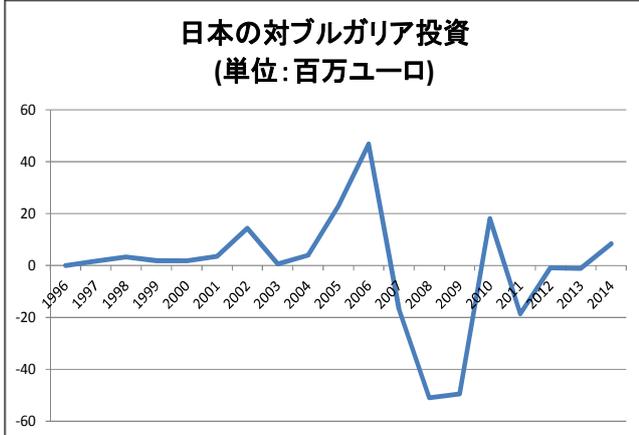
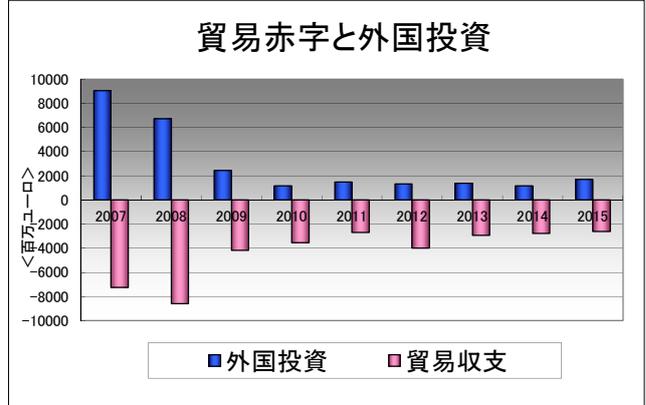
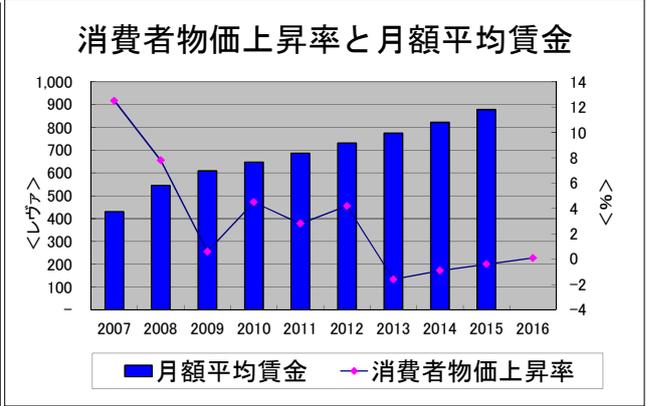
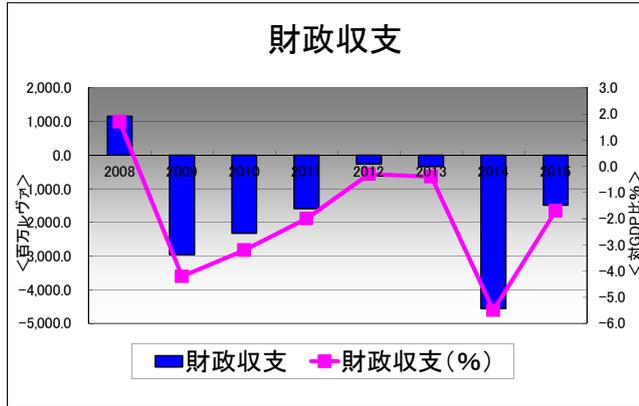
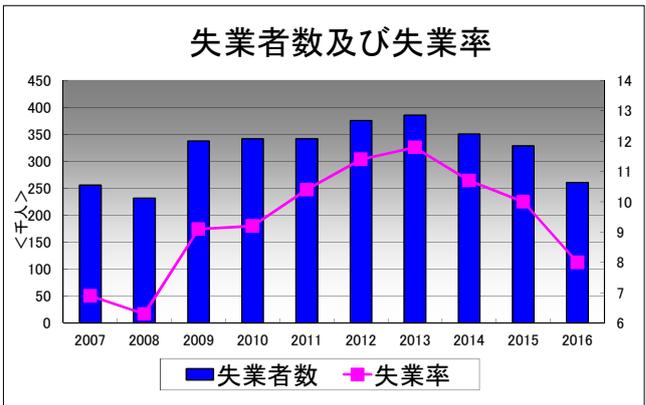
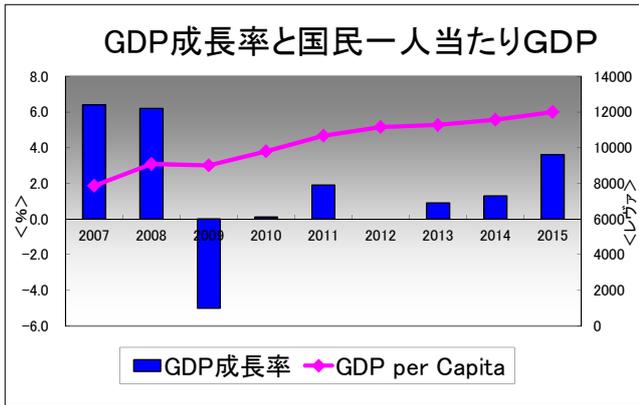
▶19日、運輸省はソフィア空港のコンセッション手続きに関する入札期限を5月19日に延期することを発表した。政府は昨年5月に同空港のコンセッション手続きを開始したが、入札期限は数回延期され、現在の期限は今年1月末となっていた。今回の延期により、早期総選挙後に発足する新政府が今後の手続を実施する見通しとなった。

ブルガリア内政・外交の動き(1月)

在ブルガリア大使館

1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	● ABRが党大会でプロダノフ新党首を選出
16 (月)	☆ミトフ外相：EU外務理事会出席
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	●ラデフ次期大統領の国民議会での宣誓式
20 (金)	
21 (土)	
22 (日)	●ラデフ新大統領及びヨトヴァ新副大統領の就任式
23 (月)	
24 (火)	●ラデフ大統領が早期総選挙を3月26日に実施する旨の大統領令に署名
25 (水)	●欧州委員会がブルガリアの最新の協力・検証メカニズム(CVM)報告書を発表
26 (木)	
27 (金)	●ゲルジコフ暫定首相を首班とする暫定政府の発足 ●第43回国民議会の解散
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	☆ラデフ大統領：EU訪問(トウスク欧州理事会議長等EU幹部との会談)(於：ブリュッセル)
31 (火)	☆ラデフ大統領：NATO訪問(ストルテンベルグ事務総長等との会談)(於：ブリュッセル)

ブルガリア経済指標の推移 (出典：中央銀行)



ブルガリア主要経済指標 (出典: 中央銀行)

< GDP成長率と国民一人当たりGDP >

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016 Q1	Q2	Q3
GDP成長率 (%)	1.9	0.0	0.9	1.3	3.6	-	3.6	3.5	3.2
GDP per Capita (BGN)	10,673	11,162	11,275	11,561	12,001	-	-	-	-

< 財政収支 >

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016 Q1	Q2	Q3
財政収支 (million BGN)	-1,589.7	-262.5	-339.6	-4,559.0	-1,489.9	-	783.2	804.5	443.9
財政収支GDP比 (% of GDP)	-2.0	-0.3	-0.4	-5.5	-1.7	-	0.9	0.9	0.5

< 失業者数及び失業率 >

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
失業者数 (千人)	342	376	386	351	329	261	335	330	324	305	286	274	268	262	255	258	258	261
失業率 (%)	10.4	11.4	11.8	10.7	10.0	8.0	10.2	10.0	9.9	9.3	8.7	8.4	8.2	8.0	7.8	7.9	7.9	8.0

< 消費者物価上昇率と月額平均賃金 >

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
消費者物価上昇率 (%)	2.8	4.2	-1.6	-0.9	-0.4	0.1	0.0	-0.3	-0.7	0.0	0.0	-0.1	1.0	0.0	-0.5	0.2	0.0	0.6
月額平均賃金 (BGN)	686	731	775	822	878	-	917	904	943	962	942	936	947	923	954	-	-	-

< 対外債務 >

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sep	Oct	Nov
政府部門対外債務 (million EURO)	4,205.0	4,578.9	4,062.2	6,552.0	6,001.4	-	5,910.7	5,914.9	7,100.3	7,633.4	7,559.5	7,477.4	7,494.1	6,852.6	6,842.6	6,821.3	6,687.9
民間部門対外債務 (million EURO)	32,089.8	33,134.6	32,873.4	32,786.4	28,087.0	-	27,928.8	27,819.1	27,300.2	27,597.3	27,338.5	27,226.8	27,122.8	27,619.6	27,328.7	27,459.7	27,476.9

< 対内直接投資と貿易収支 >

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016 Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sep	Oct	Nov
対内直接投資 (million EURO)	1,476.3	1,320.9	1,383.7	1,160.9	1,692.4	-	103.1	299.6	268.0	449.8	566.1	777.6	930.5	930.5	1,508.8	1,883.5	1,883.5
貿易収支 (FOB) (million EURO)	-2,690.2	-3,992.0	-2,932.7	-2,776.6	-2,622.4	-	1.6	-134.6	-355.6	-495.7	-706.8	-833.8	-923.7	-1,146.8	-1,153.9	-1,406.7	-1,545.3
輸出 (FOB) (million EURO)	19,055.0	19,674.9	21,217.8	21,026.3	21,919.4	-	1,652.1	3,334.3	5,132.4	6,906.6	8,643.0	10,584.2	12,576.1	14,500.5	16,491.3	18,531.8	20,699.7
輸入 (FOB) (million EURO)	21,755.2	23,666.9	24,150.5	23,802.9	24,541.8	-	1,650.6	3,468.9	5,488.0	7,402.3	9,349.7	11,418.0	13,499.8	15,647.2	17,645.2	19,938.5	22,245.0